



Topics ~循環器診療に役立つ、最新の話題~

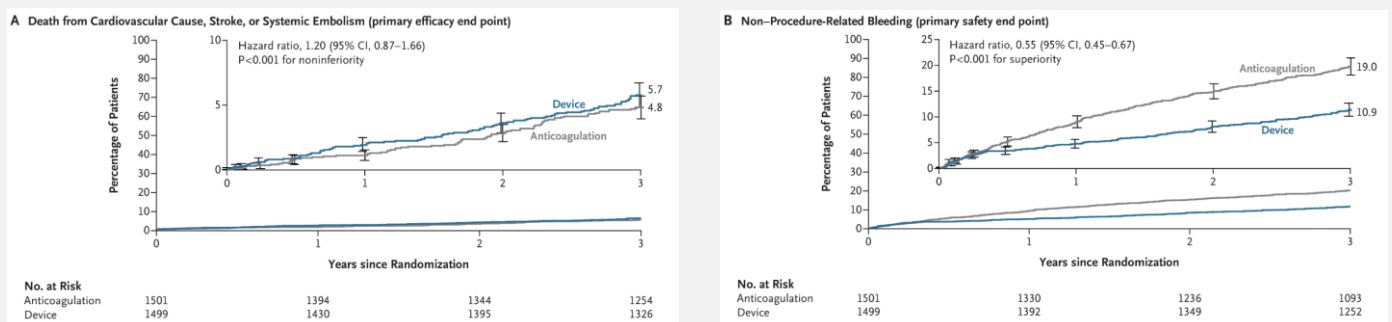
心房細動治療の新たな選択肢

~CHAMPION-AF試験:左心耳閉鎖術はDOACの代替となるか?~

心房細動患者では脳梗塞予防のため抗凝固療法(DOAC)が重要ですが、高齢患者様では出血リスクや服薬継続の負担が問題となることがあります。近年、血栓形成の主な部位である左心耳をカテーテルで閉鎖する左心耳閉鎖術(WATCHMAN FLX)が注目されています。

CHAMPION-AF試験では、抗凝固療法の適応がある心房細動患者3000例を対象に、WATCHMAN FLXとDOACが比較されました。3年時点での心血管死・脳卒中・全身性塞栓症は、WATCHMAN FLX群5.7%、DOAC群4.8%で、左心耳閉鎖術はDOACに対して非劣性を示しました。一方、非手技関連出血はWATCHMAN FLX群10.9%、DOAC群19.0%と、左心耳閉鎖術群で有意に少ない結果でした。

ただし、脳卒中はWATCHMAN FLX群でやや多い傾向もあり、すべての患者様にDOACの代替となるわけではありません。当院でも昨年よりWATCHMAN FLXを用いた左心耳閉鎖術を開始しており、出血リスクが高い患者様や、抗凝固療法の継続に不安のある方に対して、患者様ごとに適切な治療選択を検討しています。



Doshi SK, et al. Left Atrial Appendage Closure or Anticoagulation for Atrial Fibrillation. N Engl J Med. 2026.

文責 川原 隆道

スタッフ紹介 Vol.46



吉田 雄基

医師
麻酔科 科長

2016年 三重大卒

麻酔科の吉田と申します。今までいろいろな病院で働いてきましたが、当院は心臓専門病院ということもあり、日々学ぶことがたくさんあります。新たな知識や技術の習得に勤んでおります。仕事の息抜きにフットサルをやることが多いです。当院のスタッフたちとプレーすることもしばしばあります。プレーに熱中するあまりよく足を怪我します。そのため病院内では足を引きずっていることが多いです。

過去のハートチーム通信はこちら →

